

橋下
「慰安婦」
発言

わき起こる怒り。 市長・政治家の資格なし 橋下氏は、撤回し、謝罪せよ

「慰安婦制度は必要」

「銃弾が雨嵐のごとく飛び交う中で命をかけて走っているときに、精神的にも高ぶっている猛者集団をどこかで休息させてあげようと思ったら、慰安婦制度は必要なのは誰だってわかる」(5月13日、大阪市役所内で)



相次ぐ「暴言」援護

維新の会・松井知事

「(慰安婦は)現実に必要とされていた」



維新の会・石原共同代表

「(橋下発言は)間違っていない」

自民党・安倍首相

橋下発言を否定できず



日本共産党
の
見解

たつみコータロー氏は5月20日、記者会見で次の見解を明らかにしました。



党府くらし・雇用対策委員長

たつみ
コータロー
日本共産党

戦争犯罪を免罪するのか

「日本維新の会」共同代表である橋下市長が5月13日、「慰安婦制度は必要なのは誰だってわかる」と発言したことにより、国内、海外からの憤慨がわきおこっています。橋下市長は「メディアの大誤報だ」と見苦しいいわけをしていますが、女性の人権をじゅうりんし、人間の尊厳そのものを冒す国際的な戦争犯罪を「必要だった」として恥じず、発言を撤回しようともしていません。

こんな人物に大阪市長や政治家の資格はありません。

各党代表による 公開討論をよびかけます

安倍首相は、国会でわが党・井上参議院議員の追及にたいして、「立場が違う」というだけで、橋下発言を否定しませんでした。大阪の政党代表のなかには、安倍総裁といっしょにアメリカで「慰安婦は強制はなかった」などという意見広告を出した政治家もいます。

すべての政党・政治家が見識を問われています。

私は、参院選を前に、大阪の各党代表が有権者の前で、この問題を討論することをよびかけます。

慰安婦問題とは

旧日本軍が朝鮮半島などから多数の女性を动员し、「性奴隸」として「売春」を強制した許し難い戦争犯罪。

日本政府は1993年になってようやく「慰安婦」問題について国の関与を認め、謝罪しました(河野洋平官房長官談話)。これを安倍政権や橋下市長らは「強制はなかった」と「見直し」を求める動きを強めています。

橋下発言に 国内外から批判続出

「発言は言語道断で侮辱的なものだ」
(アメリカ政府当局者)

「今回の発言は女性の尊厳を冒涜し、歴史を歪曲し、反人道的な犯罪を擁護しようとする内容だ」(韓国外務省)

「彼に何より足りなかったのは人権感覚だ。人間認識の根本的な誤りに気付いていない」(琉球新報)

一貫して追及する 日本共産党

日本共産党は、あの戦前から侵略戦争と植民地支配に命をかけて反対した政党です。

「慰安婦」問題では、解決するための法案を共同で何度も国会に提出してきました。この問題は「日韓条約」当時には明るみにだされておらず、この条約で「解決済み」という態度はとれません。日本共産党は、日韓請求権協定の精神にそって、日本政府が韓国政府との協議に早急かつ誠実に応じることを求めていました。



5月18日 難波で日本共産党の女性議員が抗議の緊急宣伝を行いました